

留学にチャレンジ

Apr 1
2019
NO.48

New Adventures

〔発行〕駿河台大学 グローバル教育センター

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 Tel (042) 972-1218

Let's find the new world.

INDEX

- ② 長期(半年・1年)留学制度の特徴
- ③ 長期留学をするために
- ④ 2020年度 長期留学応募資格
- ⑥ 長期留学へのスケジュール
- ⑧ 長期留学提携校紹介
- ⑬ 海外・語学研修授業紹介
【現代文化学部のみ】
- ⑭ 短期留学(海外語学演習)
- ⑯ 留学体験 STUDENTS REPORT
～2018年度送出し留学生帰国報告～
留学して経験したこと、得たもの…
2018年度交換・派遣留学生の留学体験記
- ⑰ New Challengers 2019
～2019年度春、新たな冒険者たち～
春から留学を開始する
2019年度交換・派遣留学生が意気込みを語る！
- ⑳ 私の日本留学記
～2018年度受入れ留学生帰国報告～
2018年度ドイツ・ミュンヘン大学からの
交換留学生による留学の感想

長期(半年・1年)留学制度の特徴

駿河台大学では、長期留学提携校として、
世界8カ国・11大学と
交換・派遣留学協定を結んでいます。

提携大学との留学の形態は、
「交換留学」「派遣留学」の
2種類があり、
留学期間は半年または1年です。
駿河台大学では、この長期留学制度を利用する学生を、

①学業、②費用、③留学手続き・生活の
3つの面からサポートします。



1 Support 学業の サポート》》》

4年間で卒業することも可能

- ・留学期間も駿河台大学で学んだ年数に算入されるため、**4年間で卒業することも可能**です。
- ・留学先での学習が駿河台大学の単位として認定され、**留学中も最大40単位修得することが可能**です。(留学前の履修登録、留学後の単位認定については、所属する学部の教務課で確認してください。特に、教職・資格課程履修者、ならびに公認心理師希望者については、事前に担当教員に相談をしてください。

2 Support 費用の サポート》》》

留学先の授業料を大学がサポート。 さらに、往復の航空券・奨学金を支給。

- ・**留学先の授業料を大学がサポートします。**
海外の大学の授業料は年間200万円以上になることも珍しくありませんが、この長期留学制度を利用すると、**駿河台大学の学費を支払えば**、留学先大学の学費を駿河台大学が負担します。
- ※ただしパスポートやビザ申請等の留学前の諸費用、および宿泊(寮)費、食費などは自己負担となります。留学先にもよりますが、**年間100万円～250万円程度**と考えてください。
- ・**往復の航空券を支給します。**
渡航先によっても異なりますが、往復航空券は、通常20～60万円程度かかります。その往復の航空券も大学が用意します。
- ・**奨学金10万円を給付します。**
「駿河台大学留学奨学金」として、ひとり10万円を給付します。給付奨学金なので返還義務はありません。

3 Support 手続き・生活の サポート》》》

留学決定後から留学終了まで教職員がサポート

- ・留学先大学への願書提出や、住まいの確保、ビザの取得など、留学に伴う諸手続きはグローバル教育センター委員(教員)がサポートします。
- ・留学事前指導(ガイダンス)を行い、安心して留学ができるようにします。
- ・留学中には、駿河台大学の教職員が主にE-mailを利用して留学をサポートします。留学中に起こった生活面、学業面での悩みも気軽に相談できます。
- ・留学中には専門機関による危機管理サポートや海外健康サポートを受けることができます。24時間365日、日本語による相談が可能です。本人だけでなく、保証人様も利用することができます。

長期留学をするために

交換・派遣留学生として提携大学へ長期留学するためには、下記の応募資格を満たし、グローバル教育センターが実施する長期留学選考に合格しなければなりません。

なお、いきなり長期留学は不安もあると思いますが、まずは「海外語学演習」(P14)に参加してみることもお勧めします。

応募資格

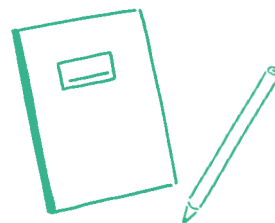
I. 本学への学費が遅滞なく納入されており、今後も遅滞なく納入されること

II. 留学の時点で、本学において1年以上修学していること

面接選考は、留学する前年度に行います（1年次・2年次・3年次生が応募できます）。

※編入生の場合は、留学までに最低1年間駿河台大学に在籍していることが条件です。

※ロンドン大学 SOAS、バーミンガム大学は、2年次生の派遣はありません。



III. 必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること。

〔英語圏への留学〕

大 学	TOEIC	TOEFL		IELTS	英検
		ITP *	iBT		
ロンドン大学 SOAS	×	×	52	4.0	×
バーミンガム大学	×	×	61	4.0	×
カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	385	430	39	3.0	2 級
カリフォルニア州立大学 イーストベイ校	385	430	39	×	2 級
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	385	430	39	×	2 級
モナシュ大学	385	×	×	3.5	×

※TOEIC、TOEFLのスコアはいずれも2017年4月以降に受験したものが有効です。

※実用英語技能検定は、2016年4月以降に合格した通知書のみ有効。なお、2級を取得している場合もTOEICやTOEFLの受験を強くお勧めします。

※TOEFL ITP試験は、Level1のスコアのみが有効です。

〔非英語圏への留学〕

該当する語学（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語）の専任教員からの推薦が必要です。

語学担当 専任教員	ドイツ語	明石真和 / 研究室：708E（第二講義棟 8 階） 小林将輝 / 研究室：708D（第二講義棟 8 階）
	フランス語	山下尚一 / 研究室：708F（第二講義棟 8 階）
	スペイン語	信岡奈生 / 研究室：709B（第二講義棟 9 階）
	中国語	葉紅 / 研究室：708H（第二講義棟 8 階）
	韓国語	朴昌明 / 研究室：1416（本部管理棟 4 階）

IV. 各学部の定める応募資格を満たしていること

各学部では留学への応募条件として、各年次の必要単位数、学業成績などを定めています。

今年度の応募条件はP4-5の通りです。所属する学部・学年の条件を参照してください。



1 原則

全学部共通

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること
2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること

2年次に留学
(1年次応募の場合)

- a) 1年次において40単位以上修得見込みであること
b) 下記の科目を修得見込みであること

法学入門Ⅰ	2単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
コース共通基礎科目	6単位

- a) 1年次において40単位以上修得見込みであること
b) 1年次必修科目のうち以下の12単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	4単位
必修外国語 第2	4単位
プレゼミナールⅠ/Ⅱ	4単位

※上記以外の1年次配当必修科目の16単位(経済・経営と社会(2単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位))、についても、修得しておくことが望ましい。

3年次に留学
(2年次応募の場合)

- a) 2年次までに80単位以上修得見込みであること
b) 下記の科目を修得見込みであること

法学入門Ⅰ	2単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
プレゼミナールⅠ～Ⅳ	8単位
コース共通基礎科目	6単位

- a) 2年次までに80単位以上修得見込みであること
b) 1、2年次必修科目及び専攻基礎科目のうち下記の30単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	4単位
必修外国語 第2	4単位
選択必修外国語	2単位
プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	8単位
専攻基礎科目	8単位
専攻基幹科目	4単位

※1、2年次配当必修科目の24単位(経済・経営と社会(2単位)、プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ(8単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位))については、修得しておくことが望ましい。

※コース選択を意図して専攻基礎科目、専攻基幹科目を履修しておくことが望ましい。

2 細則

4年次に留学
(3年次応募の場合)

- a) 3年次までに110単位以上修得見込みであること
b) 下記の科目を修得見込みであること

法学入門Ⅰ	2単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア教育科目群 (キャリア基礎Ⅰ・ キャリア実践Ⅰ含む)	6単位
必修外国語科目	4単位
プレゼミナールⅠ～Ⅳ	8単位
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
コース共通基礎科目	6単位

- a) 3年次までに110単位以上修得見込みであること
b) 1～3年次必修科目及びコース科目のうち下記の48単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	4単位
必修外国語 第2	4単位
選択必修外国語	2単位
キャリア教育科目	6単位
プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	8単位
ゼミナールⅠ/Ⅱ	4単位
専攻基礎科目	8単位
専攻基幹科目	8単位
専攻発展科目	4単位

※1、2、3年次配当必修科目の26単位(経済・経営と社会(2単位)、プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ(8単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)、キャリア実践Ⅰ(2単位))については、修得しておくことが望ましい。

メディア情報学部

現代文化学部

心理学部

- 3) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること
4) 本学における成績のGPAが2.5以上であること

- a) 1年次において36単位以上修得見込みであること
b) 下記の必修科目28単位を修得見込みであること

基礎教育科目群	8単位	メディアと情報資源、 プレゼミナールⅠ／Ⅱ、 コンピュータ・リテラシーⅠ／Ⅱ
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ
教養基礎科目群	2単位	健康・スポーツ実習Ⅰ／Ⅱ
第1外国語	4単位	英語ⅠA／ⅠB／ⅡA／ⅡB (一般学生)、日本語ⅠA／ ⅠB／ⅡA／ⅡB(留学生)
第2外国語	4単位	選択した第2外国語 ⅠA／ⅠB／ⅡA／ⅡB
専攻基礎科目	8単位	学部科目6単位を含む

- a) 1年次において34単位以上修得見込みであること
b) 下記の必修科目計22単位を修得見込みであること

基礎教育科目	10単位
キャリア教育科目	2単位
健康・スポーツ実習Ⅰ／Ⅱ	2単位
必修外国語科目	第一外国語ⅠAB・ⅡAB
	第二外国語ⅠAB・ⅡAB

- a) 1年次において34単位以上修得見込みであること
b) 下記の科目を修得見込みであること

人間研究の視点Ⅰ・Ⅱ	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	計4単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	計2単位
当該外国語の1年次必修単位 「英語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「英語ⅡA・ⅡB」(計2単位) または「日本語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「日本語ⅡA・ⅡB」 (計2単位)(いずれか計4単位)	
心理学概論Ⅰ・Ⅱ	計4単位

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること
b) 下記の配当科目計52単位を修得見込みであること

基礎教育科目群	12単位	メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ／Ⅱ／Ⅲ／Ⅳ、 コンピュータ・リテラシーⅠ／Ⅱ
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ
地域科目群	6単位	
教養基礎科目群	12単位	健康・スポーツ実習Ⅰ／Ⅱを含む
第1外国語	4単位	英語ⅠA／ⅠB／ⅡA／ⅡB (一般学生)、日本語ⅠA／ ⅠB／ⅡA／ⅡB(留学生)
第2外国語	4単位	選択した第2外国語 ⅠA／ⅠB／ⅡA／ⅡB
選択必修外国語	2単位	英語ⅢA／ⅢB(一般学生)、 日本語ⅢA／ⅢB(留学生)、 もしくは選択した第2外国語ⅢA／ⅢB
専攻基礎科目	8単位	学部科目6単位を含む
専攻基幹科目	2単位	メディア情報とキャリア

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること
b) 下記の必修科目計32単位を修得見込みであること

基礎教育科目	14単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	2単位
必修外国語科目	第一外国語ⅠAB・ⅡAB
	第二外国語ⅠAB・ⅡAB
選択必修外国語ⅢAB	2単位
専攻発展科目(各選択コース)	4単位

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること
b) 下記の科目を修得見込みであること

人間研究の視点Ⅰ・Ⅱ	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	計8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」(2単位)を含む4単位以上	
地域科目群で、4単位以上	
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	計2単位
当該外国語の必修単位 「英語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「英語ⅡA・ⅡB」(計2単位)、 「英語ⅢA・ⅢB」(計2単位)または 「日本語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「日本語ⅡA・ⅡB」(計2単位)、 「日本語ⅢA・ⅢB」(計2単位)(いずれか計6単位)	
心理学概論Ⅰ・Ⅱ	計4単位
心理学研究法科目で、「心理学研究法」(2単位)を含む4単位以上	

- a) 3年次までに108単位以上修得見込みであること
b) 下記の配当科目計58単位を修得見込みであること

基礎教育科目群	12単位	メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ／Ⅱ／Ⅲ／Ⅳ、 コンピュータ・リテラシーⅠ／Ⅱ
キャリア教育科目群	4単位	キャリア基礎Ⅰ、 キャリア実践Ⅰ
地域科目群	6単位	
教養基礎科目群	12単位	健康・スポーツ実習Ⅰ／Ⅱを含む
第1外国語	4単位	英語ⅠA／ⅠB／ⅡA／ⅡB(一般学生)、 日本語ⅠA／ⅠB／ⅡA／ⅡB(留学生)
第2外国語	4単位	選択した第2外国語ⅠA／ⅠB／ ⅡA／ⅡB
選択必修外国語	2単位	英語ⅢA／ⅢB(一般学生)、 日本語ⅢA／ⅢB(留学生)、 もしくは選択した第2外国語ⅢA／ⅢB
専攻基礎科目	8単位	学部科目6単位を含む
専攻基幹科目	2単位	メディア情報とキャリア
専攻発展科目	4単位	ゼミナールⅠ／Ⅱ

- a) 3年次までに104単位以上修得見込みであること
b) 下記の必修科目計42単位を修得見込みであること

基礎教育科目	14単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
キャリア実践Ⅰ	2単位
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	2単位
必修外国語科目	第一外国語ⅠAB・ⅡAB
	第二外国語ⅠAB・ⅡAB
選択必修外国語ⅢAB	2単位
専攻発展科目(各選択コース)	8単位
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位

- a) 3年次までに102単位以上修得見込みであること
b) 下記の科目を修得見込みであること

人間研究の視点Ⅰ・Ⅱ	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	計8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」「キャリア実践Ⅰ」(計4単位)を含む6単位以上	
地域科目群で、6単位以上	
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	計2単位
当該外国語の必修単位 「英語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「英語ⅡA・ⅡB」(計2単位)、 「英語ⅢA・ⅢB」(計2単位)または「日本語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、 「日本語ⅡA・ⅡB」(計2単位)、「日本語ⅢA・ⅢB」(計2単位)(いずれか計6単位)	
心理学概説Ⅰ・Ⅱ	計4単位
心理学研究法科目で、「心理学研究法」(2単位)を含む8単位以上	
ゼミナールⅠ・Ⅱ	計4単位

長期留学へのスケジュール



1
Step

情報を集めよう。留学先を決めよう。

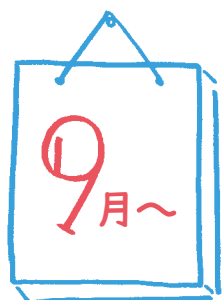
留学先を決めるときは、イメージだけで選ぶのではなく、留学先の国や大学についての情報も知っておいた方がよいでしょう。どんな国？ 各大学の授業はどんな様子？ 大学やキャンパス周辺の雰囲気は？ 寮やホームステイ先の住み心地は？ 勉強以外にどんなことができるの？ などなど。調べる方法について、いくつか紹介します。



2
Step

長期留学の応募資格を充足しよう。

P 4-5で紹介した応募資格を充足するように準備しましょう。GPAや修得単位も要件に含まれます。そのこともふまえ、しっかり履修登録をし、授業を受けるようにしましょう。特に英語圏への留学は一定の語学能力が定められています。選考書類提出時までに充足できるよう、計画的に準備しましょう。



3
Step

長期留学選考の日程を確認しよう。

長期留学選考は9月、11月、2020年2月の計3回行う予定です。留学先によって、選考日が異なりますので注意してください。選考日程は、決定次第発表します。



4
Step

長期留学選考を受けよう。

留学先大学によって選考日や必要書類が異なります。指定された期間内に必要書類を受け取り、提出しましょう（厳守）。いずれの選考も書類審査と面接によって行います。何を学びたいか、なぜ学びたいか、留学の目的は何か、などを話せるようにしっかり準備しておくことがポイントです。



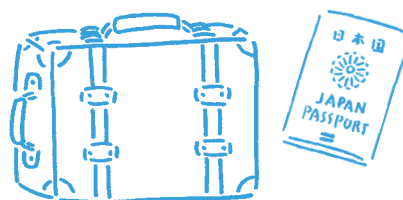
5
Step

留学手続き・渡航準備を進めよう。

選考の結果、交換・派遣留学生に内定したら、さあ、いよいよ留学に向けての手続きや準備が始まります。手続きは、グローバル教育センター委員（教員）がサポートをしますので、安心して準備が進められます。

<注意点> 留学の費用（主に現地滞在費）について、行き先にもよりますが、年間で100万円（アジア圏）～250万円（アメリカ、ヨーロッパ）程度が必要になると考えてください。

いざ出発！



情報の集め方



A 長期留学説明会〈2019年度は6回開催予定〉

日程	内容
4/24(水)、5/21(火)	長期留学制度の全体説明
6/14(金)	留学経験者の話を聞く会
7/18(木)	非英語圏へ留学するための手続きに関すること
9/25(水)	英語圏へ留学するための手続きに関すること
10月中旬	長期留学全体の説明&選考情報

時間、場所は各日程共通となります。

●時間 12:40～13:20

●場所 グローバル教育センター

(日程変更の可能性もありますので、詳しいことはポタロウと掲示にて確認をしてください。)

駿河台大学の留学制度や留学先の紹介、長期留学選考の方法などを詳しく説明します。また、留学に必要な知識や選考に向けてどんな準備をしたらいいかなどのアドバイスも行ないます。「留学」に少しでも興味がある人は参加してみましょう。開催日が近づいてきたら、ポタロウ、グローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）等でお知らせします。



B 国際交流パーティー 〈2019年度は3回、4/16(火)、7/10(水)、2020年1月中旬に開催予定〉



留学先から帰国した駿大生、駿大に來ている留学生との交流を目的としたパーティー。サンドイッチなどの軽食を食べながら、留学先の様子や文化や、生活の違いなど、積極的に話を聞いてみましょう。留学に行くことのできない学生にとっても、日本にいながらにして国際交流が体験できます。友達の輪を広げ、自分の価値観も広げるチャンス！

C 留学リーフレット “New Adventures”

長期留学の選考情報や、留学した学生からの留学報告など、留学に役立つ情報が載っています。グローバル教育センターで配付しています。



D 掲示板(随時)

選考情報や長期留学説明会・各種イベントの予定等はグローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）、総合掲示板（大学会館北側屋外通路）に掲示、またはポータルサイト（ポタロウ）にてお知らせします。マメにチェックをしてください！

E オフィスアワー(随時)

外国語担当の教員は、外国語に関するアドバイスだけでなく、留学先大学に関する情報提供やアドバイスもしてくれます。「オフィスアワー」は教員が学生の様々な質問に答えるために設けられた時間です。教員ごとに曜日時間帯が異なりますので、まずはポタロウの「シラバス」＞「教員から検索」で、先生方のオフィスアワーをチェックしよう！

F グローバル教育センター ホームページ〈随時更新〉

留学・国際交流情報が充実！ 長期留学選考スケジュールの発表や、グローバル教育センターが行っている学内の国際交流イベントの紹介、留学中の学生の留学便りなど、情報満載です。留学を考えている学生は、随時ホームページをチェックして、長期留学説明会や、国際交流イベントに積極的に参加しよう！

G グローバル教育センター (第二講義棟5階)

長期留学説明会、留学体験報告会や国際交流イベントの開催など、駿河台大学の留学・国際交流の情報発信基地としての役割を担っています。気軽にセンターを訪れて、情報収集してください。グローバル教育センターの教員・職員は、みなさんの留学したいという熱意を後押しします！

H 交換・派遣留学生 アンケート

過去に長期留学をした学生から提出された留学アンケートのファイルが、グローバル教育センターの本棚にあります。先輩たちの留学体験談をぜひ読んでみてください。

I 留学生

留学生から聞いた日本に対する感想は、日本を知るいい機会です。それに留学生の母国のことも聞け、視野も知識も友達の輪も広がります。日本にいながら国際交流ができます。パーティー等で積極的に声をかけてみましょう。



長期留学提携校紹介

駿河台大学では世界8カ国11大学と**交換・派遣留学**協定を結んでいます。

注：各国情報は日本外務省「各国・地域情勢」サイト、各国の在日大使館公式サイト、各国国立統計局サイト、Googleマップ、ロイタージャパン外国為替、地球の歩き方、世界気象機関サイト、世界紙幣図鑑、世界コイン図鑑を参照しました。



英語圏



英国

United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland



送出実績人数

大学名	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
ロンドン大学 SOAS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バーミンガム大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0

派遣留学



ロンドン大学 SOAS

School of Oriental and African Studies, University of London

ロンドン

Thornhaugh Street, Russell Square, London WC1H 0XG, UK



オックスフォード、ケンブリッジと並ぶ名門ロンドン大学の一部。アジア・アフリカ研究を専門とする高等教育機関としてヨーロッパ最大の規模を誇る。

基礎データ	創 設：1916年(ロンドン大学は1826年) 学 部：16 Departments (アフリカの言語と文化、東アジアの言語と文化、中近東の言語と文化、南アジアの言語と文化、東南アジアの言語と文化、文化人類学・社会学、美術、考古学、開発学、経済学、地理学、歴史学、法学、言語学、音楽、政治学、宗教学など) 学生数：約5,000人
環境	ロンドンの中心部ラッセル・スクエアに位置する都市型の大学。大英博物館、英国図書館に近く、ロンドン大学の様々な施設が近隣に立ち並び、きわめてアカデミックな環境にある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	English Language and Academic Studies(ELAS) フレキシブルなCertificate/Diploma Programme。 9月、1月、4月開講のコース。3ヶ月～1年の期間で学ぶ。クラスはIELTS 4.5～7.0に相当する4つのレベルがあり、英語の勉強とセットで大学の授業の履修もできる。 レベルに応じて、英語集中授業やアカデミック・サブジェクト(エッセイの書き方、文献の読み方、ノートの取り方等)、選択講義(Humanities：人文科学、Social Sciences：社会科学、International Business Studies：国際ビジネス研究を履修。副専攻として、IELTS準備コース、メディア研究等も選べる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	大学の寮は基本的には9月から始まる1年契約であり、日本の春学期から行く場合は空きがある場合にのみ利用可能。 大学近辺には下宿・アパートが多数存在し、なかには随い付きもあり。 ●SOAS Hall of Residenceの場合(食事なし)：£167.97/週～(2019年度) ●民間の学生用アパートの場合(食事なし)：£150/週(フラットシェア)～£320/週(ワンルームタイプ)(2019年度) 部屋のタイプや大学からの距離による。
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)
派遣期間	4月～翌年3月

派遣留学



バーミンガム大学

University of Birmingham

ウェスト・ミッドランド州バーミンガム
Edgbaston, Birmingham B15 2TT, UK



英国第二の都市にあり、英国をリードする12大学のうちの1つに数えられる名門大学。Japan Centreを持ち、日本に関する研究も積極的に進めている。

基礎データ	創 設：1900年 学 部：5群に分かれた28 Schools Arts and Law / Engineering and Physical Sciences / Life and Environmental Sciences / Medical and Dental Sciences / Social Sciences 学生数：約16,700人
環境	緑豊かなキャンパスにレンガ造りの建物が並び、英国らしい伝統の重みを感じることができる。コンピュータ自習室などの設備も充実。バーミンガムの中心から約3マイル(約4.8km)の距離にあり、West GateすぐそばのUniversity Stationから2駅でバーミンガム(Birmingham New Street)に到着。バーミンガムからロンドンまでは列車を用いて1時間40分前後。ロンドンのような国際都市では味わえない、「英国」の都市の生活が経験できる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Birmingham Study Abroad Programme (with English) 日本人のために特に用意されているプログラム。主に3つに分けられる。 ①Part 1 (4月～6月)：他の非英語圏の学生も含む少人数クラスでの英語(General English)およびコミュニケーション・スキルを学ぶ。 ②Part 2 (7月～9月)：正規の授業の履修の準備として英語(Pre-sessional English)。ノートテイキングやレポートの書き方も学ぶ。 Lectures, Seminars, Cultural visitsも含まれる。 ③Part 3 (10月～12月)、Part 4 (1月～3月)：正規の授業、英語の授業の履修も可。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	メイン・キャンパスから徒歩5～8分程度の学生寮(Jarrett Hall等)が提供される。 ●Jarrett Hallの場合(食事なし)：£151/週(2019年)
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)
派遣期間	4月～翌年3月



カンタベリー・クライスト・チャーチ大学

Canterbury Christ Church University

ケント州カンタベリー

North Holmes Road, Canterbury, Kent CT1 1QU, UK



ケント州最大の高等教育機関の一つで、ロンドンから電車で1時間程度の歴史的な街に位置する。学生は語学中心の留学か、語学+学部履修の選択が可能（後者の場合、申請前にIELTSの基準点をクリアしておくことが条件）。

基礎データ	創 設：1962年 学 部：人文科学、教育、健康福祉、社会科学の4学部 学生数：約17,400名(留学生は約1,500名)		
環境	イギリス南東部ケント州に位置するカンタベリーは、世界文化遺産のカンタベリー大聖堂があることで知られ、イギリス国内で最も治安が良い街の1つとして知られている。大学のキャンパスは、歴史的な街の中心に位置し、聖堂にもほど近い。中世の雰囲気を残した街並みが特徴的で、観光客も多く、気候もよい。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	●一般英語コース (General English) ●一般英語・IELTS準備コース (General English with IELTS Preparation) 午前中の授業は一般英語コースと同じ。午後は、IELTSに特化した writingやspeaking等のクラスで構成されている。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	●宿泊：ホームステイかキャンパス内・キャンパス付近の学生寮 [ホームステイ] ※キャンパスまで30分以内の範囲(2018-19) 朝食とキッチン使用…£125/週 平日2食…£160/週 [学生寮] キッチン共有、食事なし、ネット環境完備(2018-19) 例 Petros Court バスルーム付き…£167/週 ※生活費…学生寮の場合(参考)約£960 (約¥134,400/月)寮費込み (£= ¥140で換算)		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

英語圏



アメリカ合衆国

United States of America

送出実績人数

大学名	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	2	1	2	4	2	2	2	2	0	0	17
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	5



カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校

California State University, East Bay

カリフォルニア州ハイワード

25800 Carlos Bee Boulevard, Hayward, CA 94542, U.S.A.



風光明媚なサンフランシスコ湾東岸のヘイワード市にあり、きめ細かい指導で高い評価を得ている American Language Program で集中的に英語を学ぶ。

基礎データ	創 設：1957年 学 部：文理学部、経営・経済学部、教育学部、自然学部などの学士号課程、大学院(4課程) 学生数：約15,000人		
環境	サンフランシスコ湾東岸に位置するハイワード市の高台にあり、広々とした美しいキャンパス。キャンパスはサンフランシスコ国際空港より高速鉄道で約1時間の郊外に位置。学生の課外活動も活発で、75を越すクラブが、スポーツ、芸術、文化活動に取り組んでおり、学内には体育館、スタジアム、美術館、劇場、コンサートホールなどがある。留学中は日本語のできるスタッフがサポートしてくれ、現地学生と個人的に文化交流ができる "Speaking Partners Program" など、充実した補講制度もある。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	American Language Program (ALP) 「英語で」学んだり体験したりすることを重視したプログラム。学生の自発的な体験学習を促すためのカリキュラムや課外活動が豊富に用意されている。 ①Intensive English Program (IEP) 週に18時間の集中英語コース。いくつかのクラスから構成。授業は一クラス平均15名の少人数制。 【基礎科目】午前中は教室で、6つのレベルに分かれているWriting (週6時間)、Listening/Speaking (週4時間)、Reading/Vocabulary (週4時間)をそれぞれ学ぶ。 【選択科目】午後は、「US American Culture」、「Film and Music」、「California History」、「A Taste of Hospitality」など、体験を重視した科目を選択できる。また、CSUEBは、月1回のペースで行われるIELTSの公式試験会場にもなっているため、IELTS試験対策クラスもある。 【Bay Area Experience】 担当教員から与えられた課題を5～6人のグループで協力し、Bay Area (サンフランシスコを中心とした地域)の様々な場所で体験学習する。 ②Open University (OU) 通常、正規の学生が履修する一般科目が履修できるようになる。IEPの履修において、アドバイザーの推薦許可が得られるとOUプログラムへ進むことができる。1年の留学期間では、早くて3学期ないし4学期で可能となる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内の学生寮 ●3ヶ月(食費込み)：US \$3,821/学期(2016年度春学期) 月々の生活費(2018年度)※参考 ●食費90～US \$400 ●通信費0～US \$30 ●交際費90～US \$400		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

英語圏



アメリカ合衆国

United States of America

派遣留学



カリフォルニア大学

サンディエゴ校 University of California, San Diego

カリフォルニア州ラ・ホヤ
9500 Gilman Drive La Jolla, California 92093-0176

年間 300 日も晴れていると言われるほど天候に恵まれたサンディエゴに位置し、世界でもトップ 50 に入る名門校。広大なキャンパスにはユニークな建物が並び、近接した海岸ではサーフィンを満喫できる。世界中から集まった 2000 人以上の留学生と共に、落ち着いたキャンパスライフを送ることができる。

基礎データ	創 設：1960年 学 部：医学部が世界的にも有名。その他、社会科学、情報技術、人文学など200以上の専攻からなる。 学生数：33,000人
環境	カリフォルニア州サンディエゴ市に隣接するラ・ホヤ地区に位置している。キャンパスは広く、太平洋に臨むキャンパスは2,141エーカー(8.6平方キロメートル)におよぶ。(キャンパスツアーはゴルフカートのような乗り物に乗って移動した)。UCSDは、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション誌の世界大学ランキングで39位。研究大学として高い評価を得ている。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	英語の流暢さや日常英語を話したり理解する能力を改善したり、アメリカ文化に関する知識を深めたいという学生は、10週間英語プログラム「コミュニケーションと文化プログラム(Communication and Culture Program)」が最適。すべてのレベルの学生が受講できます。最初の週に英語のレベルが決まります。 ●月曜日から金曜日、8:30~16:30 ●10月曜日から金曜日、8:30~16:30 ●10週間一週20時間(最初の週はクラス編成テスト、オリエンテーション、履修登録) ●すべてのレベルに対応(全11レベル、1クラス6-18名程度) ●中核クラスでは流暢に話し理解できるようになることをめざす。 ●日常英語/アメリカ社会と文化のコース ●幅広い選択科目。Listening through Music "American Music" "American Film" "TOEFL/TOEIC Preparation" "Idiom and Slang" "Everyday English" "American Culture" "American Short Story" などアメリカ文化や英語学習を意識した13の選択コース ●2018年度日程：春(3/5~5/4)、夏1(5/21~7/20)、夏2(7/23~9/21)秋(10/8~12/7)
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	本学もしくは本学OBが斡旋するホームステイ先に宿泊する ●US \$13,800.00~US \$20,649.00/年(2016年度調べ) 月々の生活費(2018年度)※参考 ●食費100~US \$450 ●通信費45~US \$100 ●交際費90~US \$180
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月~9月または4月~翌年3月

英語圏



オーストラリア連邦

Commonwealth of Australia

送出実績人数

大学名	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
モナシュ大学	2	1	2	3	5	4	0	1	0	2	20

派遣留学



モナシュ大学

Monash University

ヴィクトリア州メルボルン
900 Dandenong Road, Caulfield East, Victoria 3145, Australia
Monash English Campus: 500 Collins St, Melbourne Victoria, 3000, Australia

世界で最も大規模な大学の一つで、世界的な教育水準と研究の実績を積み名門校。留学中は一般英語コースに参加。ホームステイでの生活が大きな特徴で、その運用・サポート体制は非常に充実。

基礎データ	創 設：1958年 学 部：Art, Design and Architecture / Arts / Business and Economics / Education / Engineering / Information Technology / Law / Medicine, Nursing and Health Sciences / Pharmacy and Pharmaceutical Sciences / Scienceの10学部 学生数：約73,000人(学部生：約50,000人、大学院生：約23,000人)
環境	シティキャンパスで授業を受け、図書館などはメルボルンの中心から約9キロ離れたコーフィールドキャンパスを利用。日本人を含む専属のスタッフが全面的にサポートしてくれる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Monash English 5週間を1ユニットとするプログラムを4回20週受講。授業時間は一日4時間、週20時間(月~金、8:30~17:15)。内訳は、12時間が一般英語(General English=Core Module)、8時間が選択科目(Specialist Skills Module)。このほかに週5時間の自習時間が強く推奨されている。ユニットの前には英語力試験があり、試験結果に応じて授業レベルが決定。レベルはElementary / Pre-Intermediate / Intermediate / Upper Intermediate / Pre Advanced / Advancedとなる。また、レベルにより、選択科目が異なる。1クラスの学生数は、10人から18人程度。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	ホームステイ ●3食込み：AU \$54×170日= AU \$9,180 (2018年度調べ) 月々の生活費(2017年度)※参考 ●食費AU \$165 ●交際費AU \$165 ●通信費AU \$50
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月~8月または9月~翌年2月

非英語圏



ドイツ連邦共和国

Federal Republic of Germany

送出実績人数

大学名	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
ミュンヘン大学	3	1	1	1	0	3	1	2	1	1	14

交換留学



ミュンヘン大学

Ludwig-Maximilians-Universität München

バイエルン州ミュンヘン

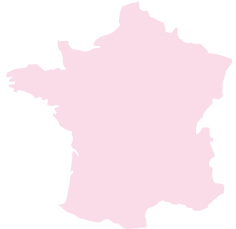
Geschwister-Scholl-Platz 1, 80539 München, Deutschland



ドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出している。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパス。

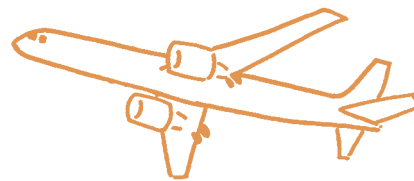
基礎データ	創 設：1472年 学 部：20学部(法、経済、経営、芸術、文学など) 学生数：約55,000人(留学生約5,400人)		
環境	キャンパスは、バイエルン州の州都ミュンヘン市の中心から徒歩15分。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパスが位置している。都会でありながら治安もよく、文化的な施設や催しも多彩。国際部のスタッフや教員が単独あるいはグループで各学生のアカデミック・アドバイザーとなり、サポートしてくれます。		
留学プログラム(参考)	大学の講義等を受講できる。また、大学附属の「外国人のためのドイツ語コース」(2ヶ月)を1回分無料で受講できる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	学生寮 (全て2018年度調べ) ●寮費：約€280もしくは約€350/月に加え、敷金(1回のみ)約€300もしくは約€400が必要。 ※寮は3月から確保されるため、渡独が4月でも3月の分の寮費が発生します。 ※光熱費、インターネット費用含む。食事はついていません。 ●保険：約€95/月 ※さらに日本で入る旅行保険も加わる。 ●その他、必要経費としてセメスターチケット約€130/学期、及び2回目以降の語学コースに参加する場合、1回あたり€560がかかる。 ●年間の生活費は寮費、保険、食費、通信費、雑費等全てあわせて€10,000は必要。		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

非英語圏



フランス共和国

French Republic



送出実績人数

大学名	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
アンジェ・カトリック大学	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4

派遣留学



アンジェ・カトリック大学

Université Catholique de l'Ouest

アンジェ

3 Place André-Leroy B.P.10808 49008 ANGERS CEDEX 01 FRANCE



10以上の学科を有する私立のカトリック大学。本学からの留学生は、長年にわたりフランス語教育に定評のある、附属語学学校 CIDEF (外国人留学生のためのフランス語コース) に在籍する。

基礎データ	創 設：1875年 学 部：神学・歴史学・文学・語学・心理学・数学・エコロジー等、10以上の学科をもつ。 学生数：約11,000人		
環境	キャンパスは、ロワール川支流のメヌ川に沿った古い歴史を持つ、フランスの落ち着いた典型的な地方都市アンジェ市にある。世界150以上の国から留学生を受け入れている。 1947年設立のアンジェ・カトリック大学附属語学学校(CIDEF)は、フランス語教育に定評があり、現在、世界中より1200名以上の学生が集まっている。学内や女子学生寮にあるパソコンが自由に使用でき、大学と学生寮のスタッフが連絡をとりあって、学生をサポートする体制が整っている。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	9月：1ヶ月間、夏期コース(フランス語集中講座)を受講。 10月以降：外国人留学生のためのフランス語コースを受講。フランス語の実力に応じて6段階に分かれる。中級より上のクラスになると、文明講座も受講可能となり、語学だけでなくフランス文化や歴史も学べる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	宿舎またはホームステイ： 食事なし、キッチン利用可の場合 秋学期 1428ユーロ、春学期 1517ユーロ 朝食+週3回夕食+キッチン利用可の場合 秋学期 2176ユーロ、春学期 2312ユーロ		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	9月～翌年2月または9月～翌年6月

非英語圏



スペイン王国

Kingdom of Spain



送出実績人数

大学名	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
サラマンカ大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2

派遣留学



サラマンカ大学

Universidad de Salamanca

サラマンカ Patio de las Escuelas, 1, 37008 Salamanca, Spain



スペイン最古の名門大学。 本学からの留学生が学ぶインターナショナルコースは、スペイン語教育機関として世界的に有名。

基礎データ	創 設：1218年 学 部：スペインの名門国立大学。法学部、経済学部、芸術学部、言語学部、教育学部、心理学部、医学部、生物学部等、10以上の学部をもつ。 学生数：約30,000人
環境	キャンパスのあるサラマンカ市は、首都のマドリッドから車で2時間半ほどのところにある静かで落ち着いた大学都市で、美しい石造りの建物が多い旧市街は世界文化遺産に指定されている。インターナショナルコースのスタッフや教員がサポートしてくれる。
留学プログラム(参考)	インターナショナルコースの「スペイン語・文化研修コース」で学ぶ。スペイン語の実力に応じたクラスに配属される。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	学生寮 ●1人部屋(3食付)：€32.5/日(2017年度調べ)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月～9月、9月～翌年3月、4月～翌年3月

非英語圏



中華人民共和国

People's Republic of China



送出実績人数

大学名	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
聊城大学	0	0	0	4	0	0	1	1	3	1	10

交換留学



リャオチョン

聊城大学

Liaocheng University

山東省聊城市 中華人民共和国山東省聊城市湖南路1号



中国は世界を牽引する国の一つ。 山東省聊城市に位置する聊城大学は広大なキャンパスを有する総合大学である。 キャンパス内に宿舎を含む諸施設が揃っており、勉学や生活にやさしい。

基礎データ	創 設：1974年 学 部：25学部88学科(経済、管理、法律、文化、理科、工学、農学ほか) 学生数：約33,000人
環境	聊城市は2000年以上の歴史を持つ文化都市で治安もよい。近年、大都市には薄れつつある中国らしさを肌で感じられる環境。大学には中国語教育センターが設置されており、教員が留学生のアカデミック・アドバイザーとして、サポートしてくれる。芸術系の音楽や絵画、書道、さらに体育系の授業も受講可能で、豊かな留学生活を送ることができる。
留学プログラム(参考)	外国人のための中国語研修コース。正規の授業を受講できる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	東キャンパスにある留学生専用の宿舎 ●二人部屋 ●二人で共用するキッチン、冷蔵庫、バス・トイレ、洗濯機 ●Wi-Fi(別払い) 月々の生活費(2018年度)※参考 ●食費0～500元 ●通信費0元 ●交際費0～100元
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	2月～7月または2月～翌年1月、9月～翌年2月または9月～翌年7月

非英語圏



大韓民国

Republic of Korea



送出実績人数

大学名	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
延世大学	1	0	1	2	0	0	0	1	0	2	7

交換留学



ヨンセ

延世大学

Yonsei University

ソウル 134 Shinchon-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-749, Korea



プロテスタントの宣教師により設立。韓国最古の伝統を誇る私立の一流総合大学であり、「ない学部がない」と言っても過言ではないほどの数多くの学部・学科が存在する。

基礎データ	創 設：1885年 学 部：文学、経済学、経営学、理学、工学、生命システム学、神学、社会科学、法学、音楽学、生活科学、教育学、国際学、医学、歯学、看護学、薬学などの学部があり、さらに細かく学科が存在する。 学生数：約18,300人。(本校の学部生数、2017年10月1日時点)
環境	みどりに囲まれた静かで広い快適なキャンパスは、首都ソウル特別市の中心部から西北に約15分の場所の新村(シンチョン)にある。新村周辺は大学も多く、大変にぎやかな学生街。たまに映画やドラマの撮影が行われている。留学生サポートシステムが整っており、希望者は、現地の学生との「言語交換(1対1で韓国語と日本語を教えあうこと)」プログラムに参加できる。また学生のくつろぎの場「Global Lounge」があり、マルチチャンネルのテレビ、インターネット、各国の資料が整備されている。
留学プログラム(参考)	交換留学生向けの英語による授業と韓国語学堂が提供する交換留学生対象の韓国語学習プログラムが開設されている。1学期に履修登録しなければならない単位数は9～18単位である。先の履修登録可能科目には韓国語学堂の交換留学生対象韓国語学習プログラム(6単位)が含まれている。韓国語学習プログラムでは、学生の韓国語学力レベル別に授業が行われる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内のSKグローバルハウスやインターナショナル・ハウスなどの留学生向け学生寮などがある。エアコン、バス・トイレ、テレビ室、コンピュータ室、食堂、洗濯室、売店などあり※希望者は、下宿やホームステイによる生活も可能。月々の生活費(2017年度)※参考 ●食費20,000₩ ●通信費15,000₩ ●交際費150,000₩
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月～7月または3月～12月、9月～12月または9月～翌年7月

海外・語学研修授業紹介

現代文化学部のみ

現代文化学部では、海外研修や語学研修の授業を実施しています。
今年度実施予定の研修関係授業の紹介をします。

海外スポーツ文化研修 南半球でコミュニティスポーツを学ぶ

- 研修先 ウェリントン(ニュージーランド) ●研修期間 2月中旬から約2週間
- 研修費 40万円程度(別途大学から5万円の補助金あり)
- 対象学生 現代文化学部2・3年次生 ●募集人数 10名前後(例年5-8名の参加がある)
- 研修内容・目的

真冬の日本を飛び出し、南半球に位置する真夏のニュージーランドでコミュニティスポーツについて、その理論と実践を学びます。研修先はNew Zealand Institute of Sport (NZIS) という、とても有名なスポーツ高等専門学校になります。また、この研修期間中には語学学校にも籍をおき、語学(英語)のブラッシュアップにもチャレンジします。そして、嬉しいことに上記の2校からは「修了証書」を研修最終日にいただくことができます。
滞在する場所は、首都のウェリントンです。そして、約2週間の滞在期間中はスポーツに理解のある現地の家庭に各自ホームステイをします。



観光研修

- 研修先 ミュンヘン(ドイツ) ●研修期間 9月上旬の9日間を予定。春学期は授業を行います。
- 研修費 約30万円程度(別途大学から5万円の補助金あり) ●対象学生 現代文化学部2年次生以上 ●募集人数 5~10名
- 研修内容・目的

今年度の観光研修はドイツの街ミュンヘンで7泊9日(予定)の研修を行います。ミュンヘンはドイツらしい歴史ある街で、芸術や音楽、そして現代的な都市文化も体験できるとても活気がある街です。ここに拠点を据えて、近



ミュンヘンの市庁舎 ツーリストインフォメーションもある研修の拠点になる場所です。

郊の古城ノイシュバンシュタイン城や、ダッハウの強制収容所跡地といった歴史遺産なども見に行きましょう。

その準備として、春学期には研修先の文化、歴史、観光資源等を知るための時間を設けています。また、あわせて海外での研修のための手続き、準備、注意なども学びます。

夏季休暇中(9月上旬~中旬)に行う研修では、ドイツの歴史と文化、観光資源の現状について実際に視察し、体験的に学びます。研修後にはその成果をレポートにまとめます。

費用は30万円程度を予定しています。大学からは補助として5万円が出る予定です。なお、受講者数が少ない場合は休講となるので、参加を考えている人はぜひ友人も誘ってみてください。第2外国語でドイツ語を履修していなくても大丈夫です。



ノイシュバンシュタイン城 狂王ルートヴィヒ2世が中世の憧れを具現化した白亜の城です。

国内英語研修

実用的な英語力を身に付けながら、
日本国内の「中世英国」という異文化をより深く理解する

- 研修先 ブリティッシュヒルズ/福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾字芝草1-8 ●研修期間 2020年2月上旬~中旬、2泊3日(変更する可能性がある)
- 研修費 70,000円程度(予定) ●対象学生 2年次生以上 ●募集人数 2名以上
- 研修内容・目的

国内英語研修は、現代文化学部国際文化コミュニケーションコースが2018年度に開設した科目です。学生みなさんは、「ブリティッシュヒルズ」という国内の魅力あふれる英語集中プログラムに参加します。

ブリティッシュヒルズに一歩足を踏み入れてまず気づくのは、そこにいる人びとがみな(授業中でもないのに!)



英語で会話をしていること。ここでは英語を公用語とし、中世の英国の街並みが再現されているため、自然と英語を話す環境が整えられているのです。

授業もたいへんユニークです。初級クラスを紹介すると、たとえば、「おしゃべり」(Small Talk)という授業では、ゲームやアクティビティを通して自己紹介のしかたや基本的な会話の始め方、適した話題について学びます。また、物事や人物を表現する授業(Basic Describing Things/ Basic Describing People)では、やはりアクティビティを通じて、モノ・コト・ヒトを表現するための形容詞を学び、描写力の向上に役立つレッスンになっています。そのほかにも、「自分について語ろう」(Talk about Yourself)ではさまざまな側面から自分のことを伝える練習をし、「トラベル英語」(Travel English)では、海外旅行をするときに、空港やレストラン等で役立つ会話をロールプレイで練習します。そして、教えていただ



く先生たちはみな英語圏出身。とても熱意のある魅力的な先生たちばかりです。

ブリティッシュヒルズの研修に参加することによって、英語力やコミュニケーション力を伸ばし、さらに、異文化への理解を体感的に深めることができます。まさにパスポートなしの留学体験です。海外留学に少しためらいがある人は、まずは国内の語学留学を体験してみたいかがでしょうか？

短期留学(海外語学演習)

特徴



夏休み・春休みの3～5週間を利用して、提携機関の充実したプログラムへ参加可能！

駿河台大学で開講している全語学(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)に、提携する海外の指定機関があります！語学プログラムのほか、観光ツアーや文化体験イベントなども充実しています。プログラムの詳細は、『短期留学提携校』一覧表およびガイダンスで確認してください。

※『海外語学演習』情報の入手先

- 留学リーフレット『New Adventures』
- ガイダンス
(ガイダンス配付資料は、グローバル教育センターでも閲覧できます)
- シラバス(『海外語学演習』の各言語欄を参照のこと)
- 過去の先輩たちの「短期語学研修参加者アンケート」
(グローバル教育センターで閲覧可)



履修登録と必要な手続きをすることにより、原則誰でも参加が可能！

履修登録をしていない学生は、参加することができません。履修登録をすれば、翌年度以降も何度でも参加することができます。春学期中に行われる事前指導とセットで、帰国後は4単位が付与されます。



担当教員と、1学期間かけて綿密に準備！

担当教員が、春学期の1学期間をかけて、留学手続きや語学、現地での生活などの事前指導を行いますので、安心して出発することができます！



5万円の奨励金を支給！

留学にかかる費用は全額自己負担となりますが、5万円の奨励金を大学から給付しています。参加費用の目安は『短期留学提携校』の一覧表で確認してください。

短期留学は、「海外語学演習」として、各学部のカリキュラムに配置されている4単位の授業科目です。

参加までの流れ



必修の外国語科目をきちんと受講！

履修していない外国語圏に参加したい場合は、こうしよう！

基礎力を
つける

「〇〇語と文化」(教養基礎科目)を履修。

「〇〇語演習」(自由選択外国語)を履修。

語学力を
ブラッシュ
アップ



いざ、「海外語学演習」へ



「海外語学演習ガイダンス」に参加

「海外語学演習ガイダンス」は、3月末～4月初のガイダンス期間中に実施します。詳しい日程は、「2019年度行事予定表」をチェック！



「海外語学演習」を履修登録

履修登録期間に必ず履修登録を！(履修登録をしない場合、参加できません。)履修登録の方法が分からない場合は教務課またはグローバル教育センターへ。



「第1回事前指導」に参加

春学期授業開始週(4月10日～16日)に行います。2回目以降の事前指導スケジュールを決定しますので、必ず参加してください。日程・場所は、ポタロウまたは各学部の掲示板で確認してください。



2回目以降の事前指導に参加

短期留学プログラムへの留学手続きや語学指導、現地生活のアドバイスなどを行います。決められたスケジュールどおりに準備をしていきましょう！

『海外語学演習』の事前指導内容はコレだ！

春学期授業計画			
第1回	海外語学演習プログラムの概要	第9回	日常生活のマナーと表現(1)
第2回	現地の社会と文化(1)	第10回	日常生活のマナーと表現(2)
第3回	現地の社会と文化(2)	第11回	手続き等の説明と指導(3) (航空券手配)
第4回	外国語でのあいさつと自己紹介	第12回	現地の地理・交通
第5回	手続き等の説明と指導(1) (入学申込)	第13回	大学と参加プログラムについて
第6回	旅行会話(1)	第14回	手続き等の説明と指導(4) (保険手続き)
第7回	旅行会話(2)	第15回	まとめ
第8回	手続き等の説明と指導(2) (ビザ申請)		

※春学期休業期間中に研修が行われる場合も、春学期に履修登録・事前指導を行います。※表は一例です。参加する海外語学演習により事前指導の内容は異なります。



出発



帰国

担当教員へプログラム終了と参加した様子の報告をしてください。アンケートや体験報告会への協力もお願いします！

※帰国後のオプション

- 「〇〇語演習」(自由選択外国語)で、さらに語学力に磨きをかけることもできます。
- もちろん、長期留学にチャレンジすることもOK！可能性を広げよう！

短期留学提携校

英語		カンタベリー・クライスト・チャーチ大学／ケント州カンタベリー(英国) コース名： 一般英語サマースクール 研修期間： 8月(3週間) 研修費用： 450,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 世界遺産のカンタベリー大聖堂からほど近い歴史的な街の中心に位置し、初学者から英語を学べる数少ない英国の大学です。
		カリフォルニア大学サンディエゴ校／カリフォルニア州ラ・ホヤ(米国) コース名： 4-week ESL Program 研修期間： 7月下旬より(4週間) 研修費用： 600,000～700,000円程度(授業料・渡航費・現地滞在費を含む) 太平洋を臨む広大なキャンパスで、自然な英語での会話やアメリカ文化を学ぶ。 文法や語彙力の向上を図る授業に加えて、学生たちは他の留学生や現地学生、コミュニティの人々で構成されるUCSD英会話リーダーと交流する機会もある。研修期間中は大学内の寮かホームステイを利用。治安も良好。
		モナシュ大学／ヴィクトリア州メルボルン(オーストラリア) コース名： 短期英語研修 研修期間： 8月中旬より(5週間) 研修費用： 550,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 英語によるコミュニケーション能力の養成、オーストラリアの生活と文化の理解、学生や市民との交流を深める。 滞在中はホームステイ。
		フィリピン中央大学／ビサヤ諸島パナイ島・イロイロ市(フィリピン) コース名： 一般英語コース(General ESLコース) 研修期間： 2月(4週間) 研修費用： 250,000円程度(授業料、寮費、1日3食込み) 費用が安く、TOEICなどの条件なしで参加できるプログラム。マンツーマンレッスンを中心に基礎的・実用的な英語力の向上を目指し、最後の1週間はインターンシップを経験する。研修期間中は英語研修センターの寮に宿泊。
ドイツ語		ウィーン大学／ウィーン(オーストリア) コース名： 国際ドイツ語コース 研修期間： 8月(4週間)もしくは9月(3週間) 研修費用： 300,000円程度 外国人のためのドイツ語コース。レベルは1から6まで用意されており、初心者も参加可能。学生寮に宿泊。 月～金の午前中に授業。 午後は、ウィーン大学主催のドナウの船旅等の企画や、ウィーン大学講師の講義に参加することもできる。
フランス語		パリ第4大学ソルボンヌ／パリ(フランス) コース名： フランス語・フランス文明講座(夏期講座) 研修期間： 8月(4週間) 研修費用： 550,000円程度 外国人対象のフランス語講座として世界的に有名。語学力によってクラス分けがされるので、無理なく受講できる。 主に実用フランス語研修と発音矯正。希望者はフランス文化・文明についての講演も受講が可能。
		アンジェ・カトリック大学／アンジェ(フランス) コース名： 夏期講座8月コース 研修期間： 8月(4週間) 研修費用： 580,000円程度 最初に語学力に合わせてクラス分けされる。入門クラスから6段階のレベルに分かれる。 各クラス10～20名程度、文法、会話、語彙、発音をバランスよく学べるようプログラムされている。 週末には、スポーツ活動、映画鑑賞、文化的催し、日帰りバス旅行なども楽しめる。
スペイン語		サラマンカ大学／カスティーリャ・レオン州サラマンカ(スペイン) コース名： スペイン語・スペイン文化研修コース 研修時期： 8月(4週間) 研修費用： 550,000円程度 スペイン有数の国立大学。外国人のためのスペイン語教育で高い評価を得ている。 授業レベルは細かく分かれ、初心者でも参加可能。1クラス15名以下。宿泊は設備の整った大学寮(個室、3食付)。 週末に実施される大学主催の小旅行に参加して、スペイン各地やポルトガルを訪れることもできる。
中国語		北京師範大学／北京(中国) コース名： 夏季短期コース 研修時期： 7月下旬より3週間と4週間の2コースあり 研修費用： 25万～28万程度、留学生宿舍の宿泊。 5名～15名の少人数クラス、初心者でも無理なく学べる。 課外活動として、京劇や雑技の鑑賞と万里の長城、天壇公園など訪れる。
		聊城大学／山東省聊城市(中国) コース名： 中国語短期研修プログラム 研修期間： 8月下旬より3週間 研修費用： 180,000円程度(授業料、宿泊料免除) 長期留学では、本学と20年近い交換留学の実績がある。2019年度より海外語学演習の受け入れを開始。手ごろな費用で行きやすい機会を提供。研修期間中は、午前中に授業、午後は交流の時間となる。中国は9月から新学年のため、キャンパス内は賑わい、他の国の留学生や地元の学生と交流することができる。宿泊は留学生寮。キャンパス内外の食堂、レストランが充実。自炊もできる。日本人がほばいないので、本気で中国語の力を身に付けたい学生に最適。
		国立台湾師範大学／台北(台湾) コース名： 短期語学研修 研修期間： 8月上旬より3週間 研修費用： 270,000円程度、1人部屋希望の場合変動あり レベルに応じた10名以下の少人数クラス。語学授業以外に文化関連授業や行事も充実している。
韓国語		延世大学／ソウル(韓国) コース名： 3週間短期課程 研修期間： 8月(3週間) 研修費用： 300,000円程度 初級から上級までの8段階のクラス編成で基礎的な日常会話や韓国社会について、じっくりときめ細かい指導をしてくれる。 初心者でも安心して参加できる。

※表中の費用は、過去の実績に基づく目安として参照してください。実際には、現地校の授業料や寮費の改定、通貨レートや航空券の価格変動等によって、変わります。

ドイツでの珍道中



ミュンヘン大学

交換留学生

留学期間：2018年4月～2019年3月
経済経営学部 2018年度卒業生

孫 暉 SUN HUI

ドイツでの生活は特に不便なことはありませんでした。ただしスーパーで売っている米はおいしくありません。米を食べたいなら、アマゾンで注文するか、日本スーパーに行って、そこで購入することを強くお勧めします。

大学の授業では、日本、中国それと欧米の文化に

ついて、プレゼンテーションをしました。日本のお礼と感謝の文化、中国の商品の値段を交渉する文化、および欧米の単刀直入の考え方など、比較して紹介しました。クラスの中で先生、他の学生と一緒に名刺の交換方法を練習しました。とても楽しかったです。

大学の秋学期は10月から始まります。クラスの友達からドイツで流行っている音楽を教えてもらいました。基本的にはヘビメタ系の音楽です。やっぱりドイツの若者は元気ですね。私のような年を取った人は浜崎あゆみの曲がいいと思います。

9月には、ウィーンでの海外語学演習に参加した



一番左が孫さん

栗原あずみさんがミュンヘンに来ました。そして2017年本学に留学をしたダリアさんを誘って、三人でOktober-fest（ミュンヘンビール祭り）に行きました。女の子がいるので、結局私は美味しいゴールデンコーラー（ビール）を飲むことができませんでした。Oktober-festに行く前に、私たち全員ミュンヘン伝統の民族衣装を購入して、それを着たま祭りに行きました。私も初めてビール祭りに行ったので、持ち込めるものなど何もわかりませんでした。が、ダリアさんがいろいろ教えてくれて、無事に入場しました。ちなみに、入場の時、かばんがチェックされ、サイズも制限があって、事前に調べないと、入場できないこともあるので、気を付けた方がいいと思います。私たちは祭りを満喫しました。夜はAugustiner Bräuという店で夕食を食べました。

クリスマスの直前、Marienplatzの中庭でクリスマスグッズの店が少しオープンしました。私はWeisser Glühwein（甘いホット白ワイン）とRot Glühwein（甘いホット赤ワイン）を買いました。ドイツ人がクリスマスの時に飲む甘酒です。自分は一人居たけど、少しだけクリスマスの雰囲気を楽しみました。

ドイツでの日常生活は日本とかなり違っていますが、この一年間私は満喫しました。

留学の思い出

私は1年間、中国の聊城大学に留学しました。聊城市はとても田舎で、最初はここで生活できるのかと不安しかありませんでしたが、徐々に慣れ、留学が楽しくなり、留学期間を延長しました。私が留学をして良かった点は、たくさんありますが2つだけ紹介したいと思います。

1つ目は、留学前の目標を概ね達成できたことです。以前は中国語の読み書きが全くできませんでした。春学期3月に聊城大学に到着したばかりの頃、食事をするのも大変でした。食堂は学生証をかざして購入する仕組みでしたが、まだ学生証はできていなかったんで食堂を利用できませんでした。大学の外に行き食事していたのですが、メニューが全く読めな



左が大橋さん

いので、ずっとメニューを指差し「これとこれ、ちょうだい」と言って注文していました。リスニングは得意なので店員に聞けば良いのですが、聊城市は田舎なので方言が酷く全く聞き取れませんでした。しかし、勉強していくうちに徐々に字が読めるようになり、徐々に食事が楽になりました。毎日大量の宿題をやり、予習と小テスト対策と週に1度与えられたテーマで作文を書く課題もあり、大変でしたが、とても充実していました。段々と中国語ができるようになっていく実感があり、毎日楽しかったです。すぐに結果が得られるものではありませんが、コツコツとやっていくのは私の性格に合っている気がします。

2つ目は、気の合う友達ができたことです。私は人見知りで、積極的に友達を増やすタイプではありません。会ったばかりの頃の私は無愛想で嫌な人だったろうなと思います。声をかけてくれた友達には本当に感謝しています。春学期は人見知りのせいで態度や表情が固かったので、ある友達には「君はいつも表情が無いから怖い」とすら言われました。大学外の人につきまとわれて、不快な思いをした時、韓国人の友達はすぐに駆けつけ、「何があったの？」と皆心配してくれました。中国人の友達は「変な人が来たらすぐに電話して」といつも助けてくれました。皆の人柄の良さから自分から心を開かないとい



後列右から2番目が大橋さん

聊城大学

交換留学生

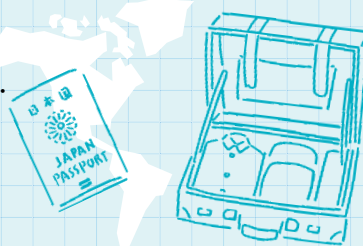
留学期間：2018年2月～2019年1月
法学部 3年

大橋 優美

日本放送協会学園高等学校出身

けないことに気が付き、できるだけ直せるように頑張りました。まだ人見知りは直りませんが少しは良くなったと思います。

1年間、様々な事がありました。正直に言うとと留学したことを後悔したこともあります。しかし、この1年間は語りきれない位、私の人生に大きな影響を与えてくれたと思います。



1年間の留学を振り返って



左が蛭田さん

カリフォルニア大学サンディエゴ校

派遣留学生

留学期間：2018年4月～2019年3月

心理学部 3年

蛭田 明日香

学校生活も長くなり、よりアカデミックな内容になったことで、授業が難しいものになりました。特にプレゼンの授業は、毎回異なるクラスメートとテーマで作成するもので、制作期間が短いことや人前で喋ることが苦手な性格から、大変な授業の一つでした。しかし、その度にクラスメートと意見を交換

し合い、ルームメートの前で練習をすることで、緊張もせず、プレゼンを楽しむことができました。また、以前よりも自分の意見や経験、自国の慣習などを、グループで話し合う機会も多くなりました。英語で自分の意見を伝えることは難しくはありましたが、その大切さを実感すると共に、それぞれの国や人のことをより知ることができ、良い経験を得ることができました。

授業以外では、積極的に映画を観ました。完璧ではないにせよ、以前よりも台詞が理解できるようになったため、より一層楽しみながら、観ることができました。また、色々な場所へ積極的に訪れるよう



左が蛭田さん

にも意識しました。友達とクリスマスのイベントや、ラスベガスのカウントダウンイベントに参加し、ショーを観ました。さらに、LAやサンフランシスコなどへも行きました。チャイナタウンやグリフィス天文台、LAサインは勿論ですが、機会がなければ訪れることがない場所へも行きました。アルカトラズ島やアッパーキャニオンです。どちらも日本人ガイドのいるツアーに参加するのではなく、直接現地へ行ってそれぞれの場所のツアーに参加しました。つまり、見学する場所のチケットを自分で手配し、現地へ行くまでの交通機関のチケットなどを自分で確保するということです。大変ではありましたが、自分で次の行動を判断したり、どんな説明をしているかを理解したりすることは、リスニングにとっても有効だったように思います。また、何か困った時や質問も現地のガイドさんなどへするため、人と話す機会も多くなり、綺麗な景色を見たりアメリカの歴史について知ったりしただけでなく、自分の英語能力の向上に役立ったものとなりました。

日本とは慣習も言葉も違うことで、カルチャーショックを受けることもありましたが、英語学習は勿論、現地や違う国の友達ができ、そこでしかできない体験や景色を見ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

サンディエゴで過ごした充実の留学生活

私は1年間アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで留学生生活を過ごしました。

1年間は長いようで短かった気がします。それもサンディエゴは1年間通しても暖かくて、なおかつ晴れている日が多かったので、1日1日が早く感じました。海は綺麗で、天候も良く、日本食レストランやスーパーも充実していました。何不自由なく生活が出来たので、勉強に集中する環境が出来ました。

勉強以外では、アメリカ国内旅行を楽しみました。ニューヨークやラスベガスやサンフランシスコの色々な有名スポットに行けて、アメリカって広いなってくづく思いました。特にグランドキャニオンとセドナは私にとって素晴らしい経験になりました。また将来的に行けたら良いなと考えています。



中央グレーのパーカーを着ているのが保戸塚さん

私は1年間の留学を通して、いくつかの壁を乗り越えられたと思っています。私自身留学経験はありましたが、それでもアメリカ人の英語を聞き取ることにとっても苦労しました。なので、最初の半年間は私のルームメイトやクラスメイトと話す機会を増やしていき、英語を話す練習をしました。どうしても最初は英語を頭で日本語に訳してから話してしまう癖があって、それを直すのにとっても苦労しました。しかし、半年経って気付いたことに、英語に慣れて日本語に訳さなくても理解する事が出来るようになりました。その後の半年間は発音やリスニングに重点を置いて、友達と話すようにしました。まだまだ完璧ではないので、もう少しアメリカに居たいと思



カリフォルニア大学サンディエゴ校

派遣留学生

留学期間：2018年4月～2019年3月

現代文化学部 4年

保戸塚 亮太

クラーク記念国際高等学校出身

ったのが素直な気持ちです。

ここまで成長出来たのも UCSD の先生方や留学生の友達、父母のサポートや駿河台大学の職員さん無しでは、なし得なかったことだと思います。本当にありがとうございました。

これからも英語を勉強していき、将来的に英語を活かせる職に就きたいと考えています。

難を越えて得たもの

中国長期留学を終えて日本に帰ってみると短い留学生活だったと感じます。その短い期間でも得たものは語学力の向上、沢山の外国人の友達、自信です。

私は第二外国語で中国語を学習してきましたが、中国の大学に着いて間もないころは99%くらいの中国語が聞き取れないのではないかと思います。聞いても理解できず、語彙力も文法も完全に欠落していて会話が成り立ちませんでした。長期留学だから、中国語は中国に行ってから熱心に勉強したらいいかなという甘えた考えがあったからか、最初は分から



右が藤本さん

ないことが多くて少し苦労しました。また、私の方から中国人の学生を誘ったり、会話をすることはものすごく勇気のいることでした。このことから、正直、当時は韓国語の会話能力のほうが明らかに優れていたで韓国の留学生とともに行動して韓国語を使う日々が続いたことを今でも覚えています。しかし、そんな状況下でも中国での授業を受けたり、日本語を話せる中国人の友達が数人できたおかげで、中国語をもっと知りたい、もっと話したいという意欲を維持することができました。そのため、春学期には多くの単語を覚えて、期末試験も満足できる点数を取ることができました。

その後、秋学期を迎えましたがまた困難にぶつかりました。秋学期は少し背伸びをして一番レベルが高く、生徒数も少ないクラスへ行ったため、春学期のクラスよりも聞かれた話題に対して自分の意見を表現する能力やみんなの前に立って中国語で発表するということが多く求められ、もう一つ下のクラスに行くべきだったかなと考えた時もありました。しかし、レベルの高いクラスとはいえ、聞き取る能力はある程度あったのでとにかくよく聞くことから始めて自分の考えを中国語で言えるように心掛けました。他にも、授業だけだと練習の場が少ないと感じたため、秋学期は覚悟を決めて、中国人の学生と積



中央が藤本さん

聊城大学

交換留学生

留学期間：2018年2月～2019年1月

法学部 4年

藤本 拓弥

東京都立昭和高等学校出身

極的に会ってとにかく中国語を話すようにしました。

これらの行動から、中国語も向上した上に、中国で使われているWeChatの友達は100人に達し、今も多数の外国人の友達と連絡を取り合ったりして勉強を続けています。そして、留学前よりも自信を持って行動することができるようになりました。

人と関わることの楽しさ



左が渡邊さん

カリフォルニア大学サンディエゴ校

派遣留学生

留学期間：2018年4月～2019年3月7日

心理学部 3年

渡邊 絢加

クラーク記念国際高等学校出身

アメリカで過ごしていた時、私は、思ったより人々が気さくで優しいことに感動しました。向こうで生活を始めた頃はまだ勝手もわからず、外国人とのコミュニケーションに戸惑いや不安がありました。

しかし一ヶ月経つと、ある程度の日常会話もできるようになり、話したいことがスムーズに出てく

るようになりました。

通っていた学校では日本以外の国からもたくさんの生徒が学びに来ており、サウジアラビアや中国、韓国、ブラジル、フランスなど、様々な国籍の人達と一緒に勉強し、交流する機会がありました。

お昼休みに中庭で雑談をしながらランチを食べたことや、テスト勉強を一緒にしたこと、クラスメイトと放課後にビーチで夕焼けを見たことは忘れられません。

コミュニケーションを取ることの壁が無くなって



左が渡邊さん

からは、一人旅やショッピング、外国人のルームメイトや友達と話すことが楽しくなりました。

旅先では、タクシーの運転手さんにおすすめのスポットやお店を教えてもらったり、モールで買い物をしていた時、日本へ渡航経験のある店員さんと話が盛り上がったり、日本が好きなネイティブの人達とジブリの映画を観に行ったり、日本の文化を教えたり、ルームメイト達とご飯を食べに行った時、中国人の子と私とでフランス人の子に箸の持ち方をレクチャーしたりと、「人と関わることの楽しさ」が日本にいた時より実感できました。

また、向こうの人は日本人よりも警戒心が少なく、初対面の人でも「良い」と思ったことや頑張ったことはきちんと認めて褒めてくれることに気が付きました。なかなかそういったことに慣れておらず、照れ臭い時もありましたが、その行為をすんなり行う彼等を私はとても尊敬し、自分もそうありたいと思いました。

日本に帰ってからは、アメリカにいた時ほど恒常的に小さなコミュニケーションを取る機会がないため、少しだけ物寂しい気がします。

人々の温かみをいつも感じることができる環境を日本でも作っていただけたらなと感じました。

NEW CHALLENGERS

2019

～新たな冒険者たち～

春から留学を開始する

2019年度交換・派遣留学生在が意気込みを語る!

Good Luck!!



長期留学に向けて



カリフォルニア大学サンディエゴ校

派遣留学生

留学期間：2019年4月～2020年3月

現代文化学部 3年

佐藤 大亮

埼玉県立北本高等学校出身

ヘレン・ケラーの言葉でこんな言葉を聞いたことがあります。「人生とは、果敢なる冒険か、つまらぬ物のどちらかだ」。

昨年の夏に海外語学演習で4週間ほどアメリカに行く機会がありました。そこでは英語だけではなく、日本で勉強をしているだけでは感じることでないことがありました。例えば、異文化間のコミュニケーションの違いです。挨拶の仕方でもさえ国によって違います。また、私生活で良かれと思ってやったことが相手にとって不快に感じる事もあるのです。

4週間という短い期間でも英語や多くの文化について学ぶことができました。そしてもっと多くのことを学びたいと思いました。

これから始まる約一年間の長期留学では、英語力やTOEIC、日本とは違う国での一般常識など、日本で勉強しているだけでは学ぶことの出来ないことについて沢山学んできます。現地ではいいことだけではなく、嫌に感じることも多いと思いますが、それも全て経験

と捉えてポジティブにいきたいと思います。そして、戻ってきた年にちょうど開催されるTOKYO 2020 Olympicで少しでも自分の経験を生かして役に立てればと思っています。さらに、長期間アメリカに滞在できるので、私の大好きなMLBを見たり、アメリカ国内で行ってみたい場所があるのでそこに行くことができればいいなと思っています。

この長期留学に行くことを承諾してくれた親や、行かせてくれる大学にとっても感謝しています。また、この留学が決まるまでに沢山の先生や友達に沢山助けていただきました。

運がいいことに、2018年にアメリカに長期留学をしていた先輩方と繋がることができ、現地のことやオーストラリアの授業などを教えていただいたので参考にしたいと思います。さらに、先輩たちがやりたかったけど出来なかったことなどに沢山チャレンジしていきます。Life is either a daring adventure or nothing at all.

言葉の壁を越えてもう一度

私は今年の3月末から9月末までの6ヶ月間、本校の留学プログラムを利用し交換留学生としてドイツのミュンヘン大学に留学します。

私がミュンヘン大学への留学を決めた理由は2年次にオーストラリアに留学した経験がその多くを占めています。オーストラリアでは沢山の国の方が集まる語学学校でドイツ語を学びながら、ウィーンの美しい街並みの中で文化や歴史や人々と交流する、という貴重な経験ができました。今度のドイツ留学ではそれらの経験を更にレベルアップさせてもう一度味わいたと思ったため留学を決意しました。

ドイツでの学生生活は、午前中はドイツ語の語学コースを様々な国籍の方達とともに学び、午後はミュンヘン大学で経済と日本語の講義を受講する予定です。語学コースの授業では、生徒のそれぞれの国籍はバラバラです。英語でもドイツ語でもそのような方達と交流を持てるのは異文化交流として大きな意義があると捉えています。ドイツに行った後の講義は基本的にドイツ語で進められるためかなり難易度が高いです。

ドイツ語での講義を受ける時は講師の方の口と表情を見て、耳を澄ませなければ内容を理解することは出来ません。普段の自主学習とは違い生のドイツ語を常に聴きながらドイツ語を学ぶため、ドイツ語の語学力は大きく成長できると今から楽しみにしています。

ドイツでの普段の生活はドイツ語で現地の方とコミュニケーションをとらなければならないという壁があります。しかし、私はそうした普段の生活の中で海外の方とコミュニケーションがとれた時の感動を鮮明に覚えています。オーストラリアでは語学学校に通う方達の母国での生活を聞いたり、初めて会ったドイツ人親子と相席で食事をしたり、現地に住む老夫婦に道を尋ねたり、教会でのミサの時間を尋ねる事がありました。その時の自分の意思が伝わり、知らない世界が繋がったような感覚は他に代えることが出来ません。

見知らぬことにチャレンジし続ける。私はこの信念を胸にドイツ留学を実のあるものにしたいと思っています。



右が田中さん

ミュンヘン大学

交換留学生

留学期間：2019年4月～2019年8月

経済経営学部 4年

田中 駿平

学芸館高等学校出身



新たな人生のきっかけとなる留学

歓迎会を思い出すとまだつい最近のように感じているのに、そのときから一年も経ってしまい、いつの間にか送別会の時期になってきた。去年の三月から一年間交換留学生として駿河台大学で勉強し、日本の生活を楽しんだ。一生忘れられないことが山ほどあったので、全部挙げるときりが無い。そこで、この一年の間に感じていた留学の魅力を書きたいと思う。

まず、最も感謝しているのは様々な国から来た人と出会うチャンスがあったということだ。日本人は言うまでもなく、中国人・マレーシア人・ベトナム人・ネパール人などの友達ができ、彼らのおかげで視野が大変広がった。グローバ



右から2番目が NORDEN さん

ル化の進む世界では、他国の人の立場に立って物事を考えるのは非常に大事な能力なので、教室内外で友達と幅広いテーマについて会話ができて、とても嬉しい。異文化と接すれば、誤解を招くが、その異文化を少しでも理解した上で行動すれば、至る所で歓迎されるのではないだろうか。また、留学はいくら楽しくても、たまには辛いこともあるので、信頼できる友達がいつでもどこにでもいてくれて、本当に助かった。相手にしてくれた皆さん、心からありがとう！また近いうちにどこかで会おう！

その上、日本学部の大学院生の私にとって、研究対象である日本に滞在するだけでいろいろ勉強になった。いくら日本についての専門書を読んでも、実際に研究している国に行くのは不可欠なことだと再び認識した。帰国した後、卒

論地獄が待っているが、この一年の間に得た知識を活かせば、何とかなるだろうと考える。

やはり、留学によって人格まで変わる。去年の三月と比べるとさらに大人になった気がしている。前より自信がもてるようになり、これからのチャレンジが怖くなくなった。むしろ、帰国した後でも目標に向かって、新しい事に前向きに挑戦するのをとても楽しみにしている。それだからこそ、留学すべきか悩んでいるあなたに留学を絶対におすすめする。新たな人生のきっかけだ。



右が NORDEN さん

NORDEN ANDREAS HERMANN
(ノルデン アンドレアス ヘルマン)

ミュンヘン大学 交換留学生
留学期間:2018年4月～2019年3月



左が NORDEN さん

グローバル教育センターでは、外国語学習をサポートし、楽しく学ぶ場を提供しています。

外国語の学習方法がわからない、外国語の授業についての質問があるなど、

外国語の学習についてわからないことがあれば、気軽に相談することができます。

語学試験の問題集、外国の読み物やマンガ・雑誌もあり、教材付属のCDも利用できます。

長期・短期の留学に関する相談を受けることもできます。

外国語学習に対して関心がある人、少し苦手だけど挑戦したいと考えている人は

学部・学年関係なく誰でも利用できますので、気軽にお越しください。



グローバル教育センター